

AED 院内研修会

- 一次救命処置と AED について -



開催日時：2019 年 8 月 29 日(木)・30 日(金)

参加者：全職員対象

研修内容

【講演】

「一次救命処置と AED について」

株式会社サニクリーン九州 井上 喜代博氏

【実技】

「心臓マッサージと AED の使用方法」

職員全員で実施



一次救命の基本



「AED がなぜ必要なのでしょうか」

日本人の死因の第 2 位に心臓疾患があり、6 万人以上の方が、心室細動により「突然死」しているという現状があります。

- ✓ 心室細動 : 電気ショックを与える AED が唯一の治療法
- ✓ 生存退院率 : 1 分でも早い AED の使用が増加につながる
- ✓ 救急車 : 到着までの平均は 8 分。福岡は 6 分程度。

※血液の循環が止まると 3~5 分で脳に障害が発生し始める。

いざという時の対処方法

- ① 反応の確認：肩を叩いて大声で呼びかける
- ② 通報：周りの人に「119 番通報」と「AED の手配」を頼む
- ③ 呼吸の確認：胸と腹の動きを見る(普段どおりでなければ④)
- ④ 胸骨圧迫：※下記参照
- ⑤ AED が到着したら使用開始※AED の音声ガイドに従う

※みぞおち付近を深さ 5cm 程度、100 回/1 分ペースで圧迫する。



今回の AED 院内研修会に参加して、AED の使用方法はもちろんですが、救急車が現場に到着するまでの時間に、そばにいる人たちができるだけ早く協力して救命措置を実施することが重要であるということを学びました。また、福岡市の救急車の台数が約 40 台であることや、AED の設置場所として“歯医者”が多いことなど、AED に関するトピックスも学ぶことができました。

看護部 藤原 玲奈